

新事業
進出支援

「超円高時代を乗り切る 打開策を武器にして 新事業に挑む」

SHIBUTANI & Co. 株式会社 渋谷 様

<http://www.shibutani-group.co.jp/>

本社所在地	奈良県桜井市	設立	1973年
代表者	渋谷 守浩	資本金	8,000万円
事業概要	総合建設業、輸出入業、無印良品の家事業、コンテナバンク、古材銀行事業など	従業員数	50名

課題1 革新のDNA、 新たな挑戦分野を探していた

建築事業を基盤に、マテリアルサプライやモバイル通信事業など、常に新しい事業への挑戦を模索していた。

課題2 予想以上の円高、クーポンスワップ による損失を出したくない

為替相場を見誤り予想よりも円高が進行。「社員が汗水流して働いて創出した利益をクーポンスワップによる損失で無駄にしてしまうことは絶対に阻止する」と自分に誓う。

課題3 中国、タイ、ベトナム・・・ 新たな商材がないか探し続ける

為替リスクを抑えたビジネスを模索し、商材をアジアを中心に探し続ける日々を送る。既存事業に関連しながらも今までにない新たな商材を探す。

解決への
取り組み

建築に新しい発想。 海外コンテナを活用した 新ビジネスへ。

建築は建てて造るものという発想を転換。耐久性の高いコンテナに加工を施して海外から輸入。さらに、国内で付加価値を高めることで、早くて、安く、外観もスタイリッシュな建築の新ビジネスへ挑む。



株式会社渋谷様
代表取締役社長
渋谷 守浩
Morihiko Shibutani

2010年当時、予想以上の円高進行に伴いクーポンスワップによる損失が各社で発生する状況にある中、為替リスクを抑えながら、発生した為替損失を埋められるビジネスを模索して、新たな商材を探し続けました。そして、約2年、アジア各国をまわる中で出会ったのが、海外コンテナであり、それを使用したユニット住宅事業です。

従来の建物の施工と比べて、工期を短縮でき、スクラップ&ビルドが容易なコンテナは、店舗・事務所等への活用に適していると感じていました。そこで、商工中金に相談したところ、紹介されたのが成長戦略総合支援プログラムでした。

商工中金とともに成長計画の青写真を描いていく中で大きな課題だったのは、どのように販路を拡大していくかということでした。私たちが見据えていたのは日本全国への展開。特に、震災によりダメージを受けた東北地域への展開です。コンテナユニット住宅は被災地域の復興に必ず貢献できると確信していたのですが、拡販するために必要な体制やネットワークが当社には欠けていたのです。こうした当社を支えてくれたのが、商工中金の全国ネットを活かしたビジネスマッチングと外為取引のサポートです。今や、確かな収益の柱へと成長している新事業の成功の背景には商工中金の存在があったのです。

商工中金の支援による

成長へのポイント!

コンテナユニット住宅という新事業を支えたのは 商工中金のネットワークだった

新事業展開に向けて――

アジア各国をまわる中で出会ったのが
海外コンテナ

- 特徴1 コストを削減できる!
- 特徴2 地震などにも安心!
- 特徴3 空間を広く使用できる!

ビジネスとして
成功すると確信



しかし、認知度が低く、拡販していくにしても販路が乏しい、という課題があった。

商工中金
支援

商工中金に相談。BM(ビジネスマッチング)の支援を受ける。

〈マッチング例〉

八戸の医療法人に
移動式の医療装置として販売

商工中金の取引先を
ビジネスマッチング

医療法人
(八戸)

株式会社渋谷
(奈良)

国内市場への拡大

今後は販売拡大、海外での事業展開へ――

商工中金
支援

各種情報提供など、
商工中金の
支援を受けながら
海外事業の展開
を模索

商工中金
支援

外為取引支援等、
各種金融支援により
海外展開を
商工中金が
バックアップ

国内での販売から
海外市場での販売へ。
グローバルな展開に、
商工中金の存在は欠かせない。

商工中金からのメッセージ

日本国内にとどまらず海外を含めた経営の情報を提供し、 地域産業の発展に貢献していく

奈良県は産業・雇用の振興にチカラを注いでおり、商工中金が果たしていく役割は大きいと認識しています。本事例のように積極的な事業展開を図る企業を先端事例として、数多くの中小企業に紹介し、支援していくことはもちろん、地域活性化に向けて、地域金融機関と連携を深めていくことも大切だと考えています。奈良県の発展、そして、日本の発展のために、これからも確かな役割を果たし続けていきたいと思っております。

商工中金 奈良支店
支店長

山田真也

